| 学校番号 | 312 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 歴史総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 明解　歴史総合　（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近現代の歴史の変化を大観して理解し，考察・表現できるようになることに重点を置き、
個別の事象のみの理解にとどまらないようにすることを心がけよう。
そして年表や地図，その他の資料を積極的に活用しながら，身近なことがらのルーツをたどり、
世界とのつながりや近代化・大衆化・グローバル化などの歴史上の変化に対する理解を深めよう。
最終的には，歴史的経緯をふまえることで明らかになる現代の諸課題を把握し，
展望することをめざそう。

## 2　学習の到達目標

・現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から様々な情報を自分なりに調べまとめる技能を身に付ける。
・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを時期や年代、現在とのつながりなどに着目して，多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題の解決を視野に入れて構想したりする力を養う。
・日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深め、よりよい社会の実現を視野に課題を解決しようとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 近代化と私たち | 江戸時代の日本と結びつく世界<br>・アジア、アメリカにむかうヨーロッパ<br>・イギリス、フランス、アメリカ<br>・産業革命<br>・ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争<br>・黒船の来航と日本の対応<br>・新体制の模索と江戸幕府の滅亡 | a:江戸幕府が滅亡していく過程と黒船の接近について理解している<br>　ヨーロッパの革命やアメリカの独立を経て帝国主義化への流れについて理解している<br>b:ヨーロッパ諸国とその他の国や地域の動向を比較したり,日本と関連付けたりするなどして,政治変革の特徴,社会の変容などを多面的・多角的に考察し,表現している。<br><br>C:日本とヨーロッパ社会について,よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究,解決しようとしている。 | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>ワークシート | 授業観察<br><br>ワークシート<br><br>パフォーマンス課題<br><br>ポートフォリオ |
| | | 近代化が進む　日本と東アジア<br>・新政府の誕生<br>・近代国家を　目指す日本<br>・日本と清の　近代化と日清戦争<br>・列強の中国進出と日露戦争<br>・日露戦争が　与えた影響 | a:日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に,立件体制と国民国家の形成を理解している。<br>　列強の進出や日清・日露戦争などを基に,列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。<br>b:　国民国家の形成の背景や影響などに着目して,アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり,相互に関連付けたりするなどして,政治変革の特徴,国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し,表現している。<br>c:近代化が進む日本と東アジアについて,よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究,解決しようとしている。 | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>ワークシート | 授業観察<br><br>ワークシート<br><br>パフォーマンス課題<br><br>ポートフォリオ |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 国際秩序の変化や大衆化と私たち | 第一次世界大戦と日本の対応<br>・ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張<br>・総力戦となった第一次世界大戦<br>・ロシア革命と大戦の終結 | a:第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。<br>b: 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:第一次世界大戦と日本の対応について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | 授業観察<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>ポートフォリオ |
| | | 国際協調と大衆社会の広がり<br>・ヴェルサイユ 体制の成立<br>・東アジアの民族自決の行方<br>・中東・インドの 民族自決の影響<br>・ヨーロッパの 復興と大衆の 政治参加<br>・大衆社会の 出現とアメリカの繁栄<br>・日本における 大衆社会の形成 | a:大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。<br>b: 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:国際協調と大衆社会の広がりについて，<br>よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | 授業観察<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>ポートフォリオ |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 国際秩序の変化や大衆化と私たち | 日本の行方と第二次世界大戦<br>・世界恐慌が与えた影響<br>・ファシズムの　台頭と拡大<br>・政党政治の　断絶と満州事変<br>・日中戦争の始まり<br>・第二次世界　大戦の展開<br>・戦局の悪化と　被害の拡大<br>・第二次世界　大戦の終結と　その惨禍 | a:世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。<br>b: 経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:日本の行方と第二次世界大戦について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>ワークシート | 授業観察<br><br>ワークシート<br><br>パフォーマンス課題<br><br>ポートフォリオ |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 国際秩序の変化や大衆化と私たち | 再出発する世界と日本<br>・戦後の新たな　国際秩序<br>・冷戦の始まり<br>・日本撤退後の東アジア<br>・日本の改革と　独立の回復 | a:第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。<br>b:第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:再出発する世界と日本について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 | 定期<br>考査<br><br>小テスト | 定期<br>考査<br><br>ワーク<br>シート | 授業<br>観察<br><br>ワーク<br>シート<br><br>パフォーマンス課題<br><br>ポートフォリオ |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度